

ウェビナー **最新留学生リクルート事情を知る -ポスト・コロナの日本留学 ③**

主 催:IEEF 国際教育交流フォーラム

第3回「ポスト・コロナの留学生リクルートの明日はどのような？」

日時: 2022年8月2日(火) 13:00~15:00 (参加無料)

時間	話題提供者等	タイトルと内容概略等
	開催趣旨	<p>これまで2回に分けた IEEF ウェビナーではカバーできなかったのが、ポストコロナの留学生リクルートです。過去2年半の間に日本始め多くの留学生受け入れ国では、来るはずの海外からの留学生を大量に失ってしまいました。</p> <p>最近になって、ようやく日本にも留学生が来始めて関係者は喜んでいますが、これまで滞留していた留学生が到着しているということで、やはり新たな戦略をもって海外からの留学生を獲得する努力をしなければ日本の国際教育交流の明日は暗いものとなるでしょう。</p> <p>日本政府は、今後5年かけて留学生数をコロナ前に戻そうとしています。これまでの状況をどう打開していくかは、日本語教育機関でも大学でも、きわめて重要な課題です。他の留学生受け入れ先進諸国では、どうなのでしょう。私たちは、海外の教育機関のリクルートの状況についても、必ずしもよく知っているわけではありません。</p> <p>今回の IEEF ウェビナーでは、ポストコロナの留学生受け入れ戦略に焦点を当てて、事情をよく知る専門家や、現場でリクルートに携わるエキスパートに、たいへん重要で貴重な情報やノウハウを披露していただき、また、オーディエンスを交えた質疑応答もする予定です。</p> <p>これが、関係者の皆さまの明日への大きな力となることを心から願っています。</p>
13:00	司会・進行 立命館アジア太平洋大学 教授 近藤 祐一	はじめに 第3回 IEEF ウェビナーの開催趣旨と問題意識
13:05	IEEF 国際教育交流フォーラム 代表 堀江 学	<p>「留学生リクルート コロナ禍からポストコロナへの移行期に」</p> <p>「留学生リクルート」という概念がなお今日も一般に日本に根づいているとは言えない。その現実と背景を考察し、明日からの留学生リクルートへの示唆をしたい。</p>

13:20	一橋大学 教授 太田 浩	<p>基調「Big 4(英米豪加)のポストコロナにおける留学生獲得の動向と日本の課題」</p> <p>留学生の入国制限が3月1日に緩和されたが、日本の留学生受け入れの正常化は主要国に大きく遅れた。</p> <p>留学生受入れ主要国の動向と日本の課題について提示するとともに、この危機を機会ととらえ、私たちが今後、何をどうすべきかについて考える契機としたい。</p>
13:50	早稲田大学 入学 センター 国際ア ドミッションズ オフィス 荒木 悠太	<p>「Webを主軸とした学生募集への転換」</p> <p>学生募集から選抜に至る各過程の方法論・現場課題の変化をコロナ前後で比較しつつ、ポストコロナを見据えて構想中の新リクルート戦略である「MA(マーケティングオートメーション)ツール・手法」導入計画の狙いを紹介する。</p>
14:15	一般社団法人 海外留学協議会 (JAOS) 理事・事 務局長 星野 達彦	<p>「英語圏教育機関の留学生リクルーティング手法」</p> <p>留学生受け入れ大国である米英豪などの大学や語学学校は、どのようにして世界中から留学生を集めているのか、留学エージェント・B2B(学校と留学エージェント)のマッチングイベント・Pathwayプログラムなどの典型的なリクルーティング手法について解説する。</p>
14:40	話題提供者からの補足と全体のQ&A	
14:55	近藤 祐一/堀江 学	おわりに

お申し込み先: <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf2fRh5TNqcEM9hA8uhruVnwApYaFs-xhKzMFddXlU8Y4Pylg/viewform>